



【参考】成果発表②

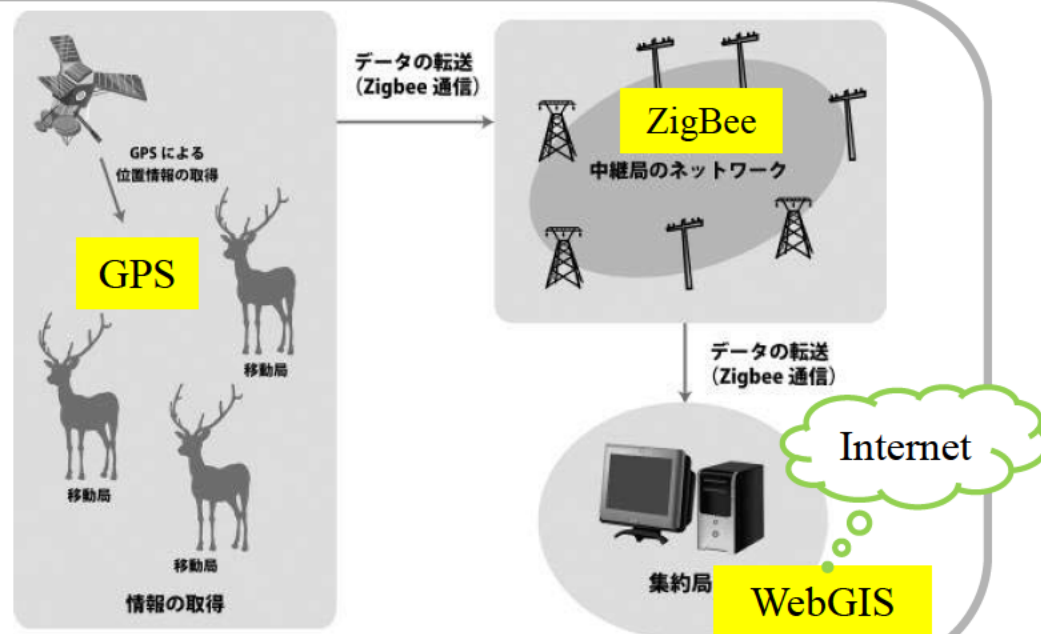
「省電力型短距離無線通信規格を用いた野生動物被害防除システムの研究開発」

研究代表者：酪農学園大学 教授 金子 正美 氏

研究目的：ZigBee*、GPS、GISを組み合わせ、農林業被害を引き起こす野生動物の行動監視システムを開発する。 *短距離省電力型の無線通信規格

研究概要：

- STEP1:** GPS内蔵の首輪型の移動局をエゾシカに取り付ける。
- STEP2:** ZigBee中継局ネットワークにより、位置データを回収する。
- STEP3:** 集約局でGIS解析をして、インターネットにより農業者や狩猟者に配信する。
- STEP4:** 得られた野生動物の生態データにより、被害防除や捕獲の計画を立案する。



社会への波及効果 高齢者でも低労力で野生動物のモニタリングが可能となり、情報技術を持った若者を人材育成して農山村で技術指導することで、地域の活性化が見込める。